

あなたの力が社会を変える

チームもったいない

サステナブルな社会の実現へ、いざ！

東京都が2050年までに世界のCO₂排出量実質ゼロに貢献する、「ゼロエミッション東京」の実現を宣言したことを知っていますか？ 省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの拡大、資源の有効活用などを通じて、CO₂排出を最小化し、皆様とともに地球温暖化の影響に対応しうる持続可能で強靱な都市を目指しています。

今、世界では、国連が採択した2030年へ向けた環境・経済・社会についてのゴールであるSDGs（エスディー・ジーズ、持続可能な開発目標）の実現への取組が欠かせない状況になっています。環境課題・社会課題への配慮なくして事業活動を行えない…、そんな時代が来ようとしています。

「チームもったいない」への参加は課題解決への第一歩



ゼロエミッション
東京の実現



チームもったいないに参加し、「もったいない」に取り組むことで、食品ロス削減・資源の有効活用・プラスチック対策・省エネルギーなどが促進され、ゼロエミッション東京の実現に向けた第一歩となり、SDGsを実現する一歩となります。

「チームもったいない」の3大取組分野

Saving Food

食品ロスの削減など

Saving Materials

資源の有効活用など

Saving Energy

省エネの推進など

エコ活動の大小は不問 身近なことから「もったいない」を

例えば…

- ✓ 宴会で食べきりを推奨
- ✓ 賞味期限の近い食べ物から購入
- ✓ フードバンクや子供食堂の活動へ参加
- ✓ コンビニのレジ袋辞退を社員へ働きかけ
- ✓ マイバッグ・マイボトル・マイ箸を社内で推奨
- ✓ ごみを分別してリサイクルを徹底
- ✓ クールビズ・ウォームビズの徹底
- ✓ 省エネ機器の購入や環境に配慮した物品調達の実施（グリーン購入）など

「もったいない」に取り組むことは難しくありません。あなたの会社でも既に取り組んでいるかもしれませんが、取り組んでいない場合でも、直ぐに実践できます。「チームもったいない」には、会社としても、社員一人ひとりとしても参加できます。

「チームもったいない」を通じて社会に取組を発信



ロゴマーク使用

「チームもったいない」のロゴを使用して、自社の取組をPRすることができます。



東京都HP上でのPR

東京都のホームページ上で、メンバーによる取組を紹介しています。

面倒な手続きなしの気軽さが魅力 申込はホームページから

チームもったいない



http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/team_mottainai/join.html

参加資格は、チームもったいないの活動の趣旨に賛同し、「もったいない」の意識を伝え、行動を変えるきっかけをつくる活動に取り組んでいただける企業・団体や個人の方。ホームページの申込フォームに必要事項を記入の上、お申込み下さい。参加料などの費用もかかりません。

●東京都環境局 環境政策課 チームもったいない事務局
電話：03-5388-3426（直通）

身近なところで広がる“もったいない”の取組

「チームもったいない」の参加メンバーはこんな取組を実施しています。

Saving Materials / Energy × 多摩電気工事株式会社



**リサイクルの推進、
廃棄物の少量化に取り組んでいます。**

多摩電気工事株式会社 総務部 総務課 清水泉さん

2002年から廃棄物の削減に取り組んだ結果、工事資材の破損やロスを大幅に減らすことに成功し、さらに2019年からは、社員1人ひとりが取り組める環境活動もスタートさせました。

事業における廃棄物の少量化やリサイクルの推進を行い、環境委員会の発足に

より、社員によるレジ袋辞退の取り組みも推進しています。食品ロス問題も意識し、社内備蓄用の乾パンをフードバンクに寄附するなど、新しいことにも積極的に取り組んでいます。

今後も、他の会社の良いお手本になれるよう取り組みを継続していきます。



1



2

1. 工事資材の破損を防止するため、保護ネットを使用。2. 社内向けの環境通信では、取組の結果を分かりやすくお知らせ。

Saving Energy × 株式会社スーパーホテル



**環境に優しい
ホテルづくりに取り組んでいます。**

株式会社スーパーホテル 経営品質本部 サービス管理部 次長 中野吉崇さん

2001年から環境を意識した取り組みを始め、2008年には「LOHAS（ロハス）」をホテル運営の基本コンセプトに。2018年からは「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、地球にも人にも優しいホテルづくりを行っています。

連泊時に清掃不要を申し出た宿泊者に

特典をプレゼントする「エコひいき」や、宿泊時に発生するCO₂排出量の100%を宿泊者に代わりカーボン・オフセットする「ECO泊」に取り組んでいます。

今後でもできることを意識して取り組み、共感する方に宿泊していただくことで、業界全体のさらなる盛り上げりに繋がりたいです。



1

1. 「ECO泊」はホームページからの予約が対象です。2. eco検定の受験を推奨し、今では全従業員の約9割が合格。



2

Saving Food × 合同会社クアッガ



**パン廃棄の削減サービスを
運営しています。**

合同会社クアッガ 代表 斉藤優也さん

パン屋で出たロスパンをお得な価格で販売し消費者に届ける、パン廃棄の削減サービス「rebake（リベイク）」を運営しています。

職人たちの作ってくれたパンを捨ててしまうのは、もったいない。関係者のモチベーションも下げていたパンの廃棄を減らせるこのサービスは、パン屋さんからはとても好

評です。消費者からも、ロスパンがたくさん出ることを知ったので、自分で買ったパンはきちんと最後まで食べ切ろうと思う、という声を頂いています。

今後も 登録店舗を拡大させ、より多くの人やパン屋さんに「rebake（リベイク）」を知ってもらいたいです。



1



1. 「rebake」ホームページ。2. ホームページに利用者から投稿されたパンの写真。『お得だし美味しい』と喜びの声が続々。